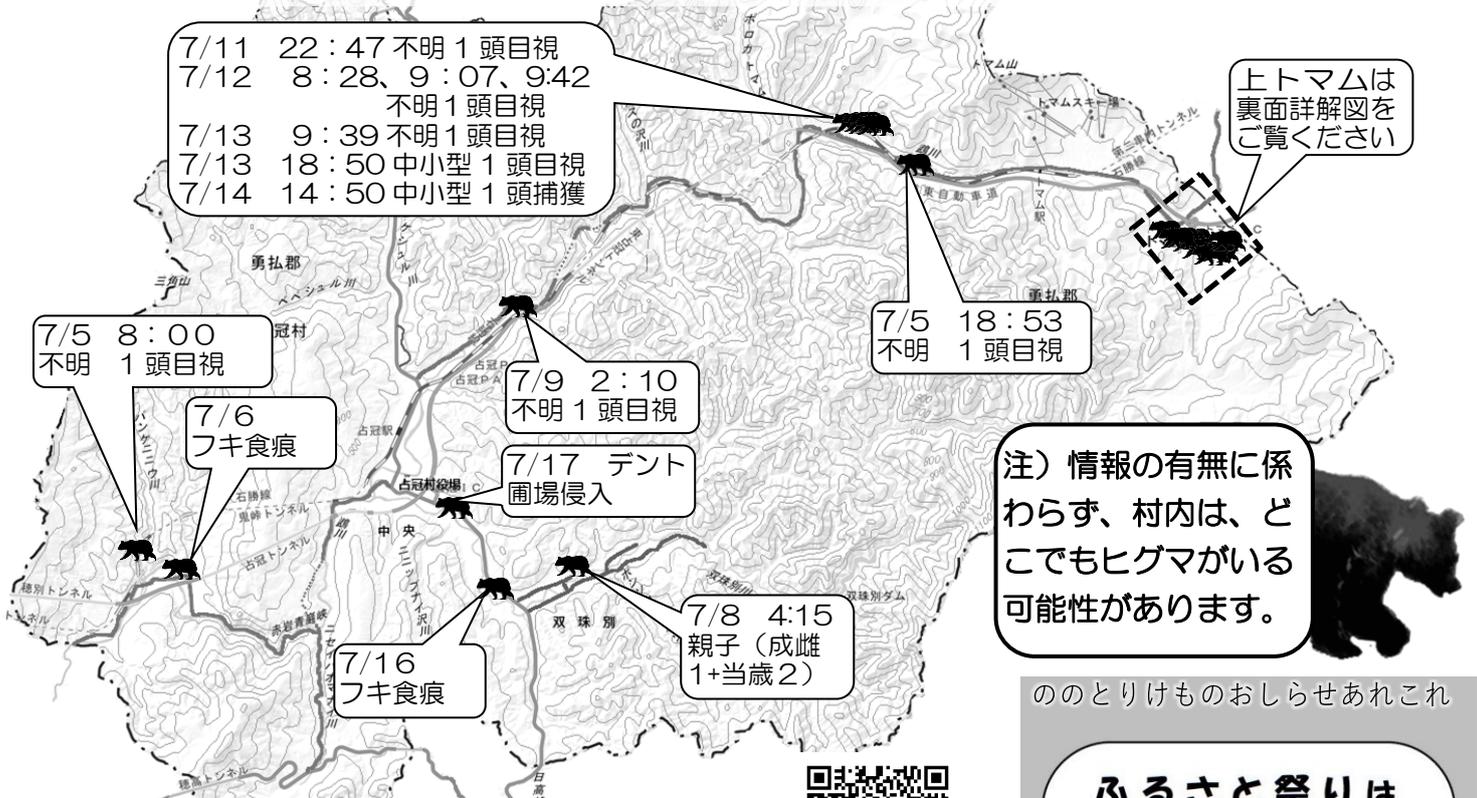


ヒグマについてのお知らせ **Brown Bear information**

上トナム市街地近辺は6月下旬に活動情報が出始めましたが、7月になっても例年同月のような頻出を見せず、むしろ静かになりました。カリフリ山麓の農地周辺は7月以降に断続的な情報があるものの例年より低調です。自動撮影で2頭以上を見分けましたが、各々単独であり、付近で親子を見ないことも今夏の特徴です。

下トナムでは放牧地付近の線路や村道で目撃が相次いだため、専門員が巡視し、シカの轢死体を食べる若いオスグマ1頭を捕獲したところ、付近での活動情報は途絶えました。双珠別では親子グマの目撃がありましたが、一度きりで終息しました。

全村的に不気味なほど静かな7月を過ごしたことになります。8~9月恒例のデントコーン圃場への侵入も、例年より少なくなってくれるのでしょうか。



注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。

ののとりけものおしらせあれこれ

**ふるさと祭りは
ひぐまデント**

8月2日(土)
8月3日(日)

真剣! 安全射的教室
地味! 資料標本展示
驚愕! 模擬クマスプレー
安直! 塗り絵コーナー

ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>

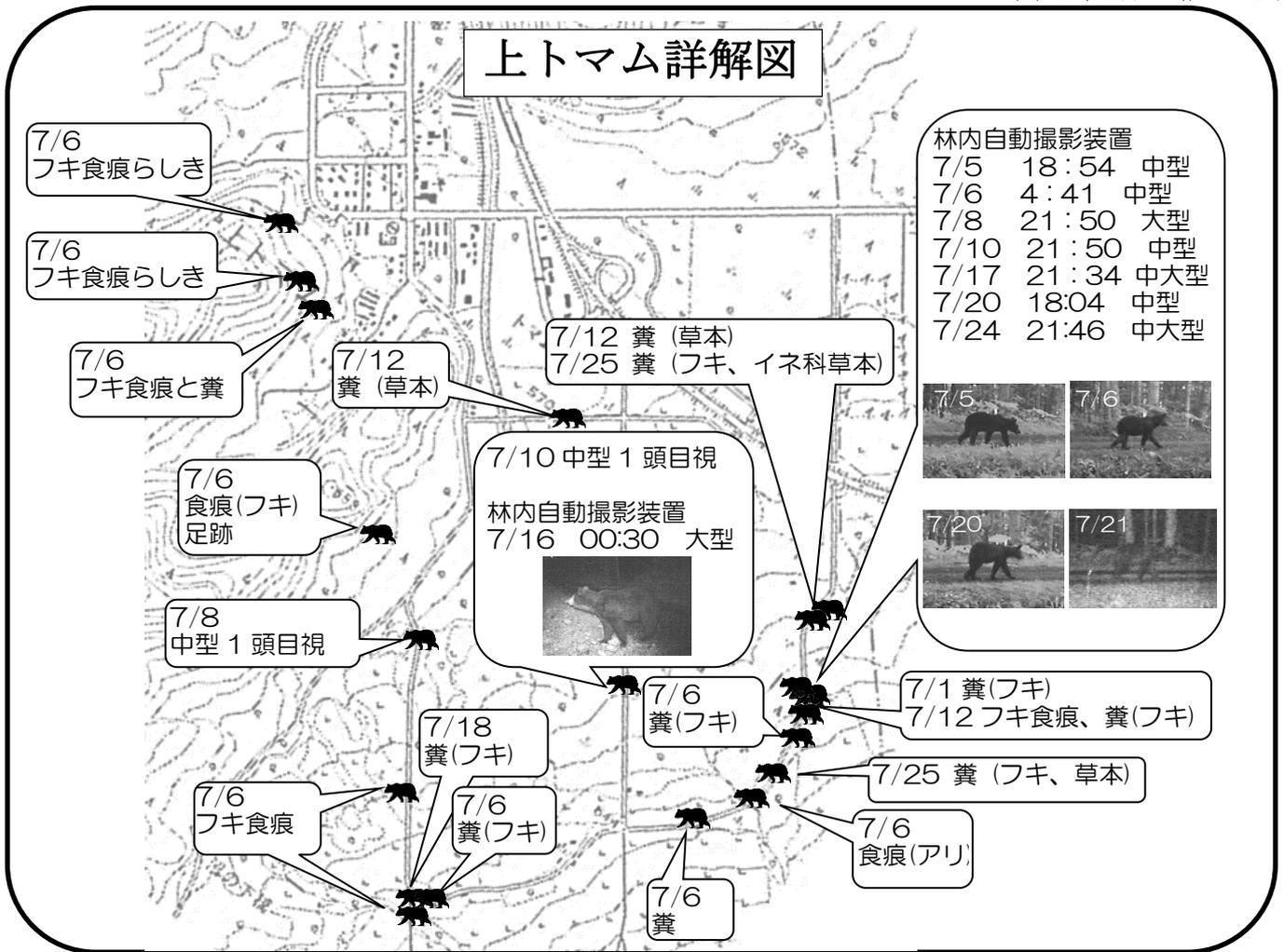


- 次のような状況はすぐに対策が必要です。
- ☀ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
 - ☀ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
 - ☀ 人に気付いても逃げない。
 - ☀ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
 - ☀ 持ち物を奪われた。
 - ☀ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
 - ☀ 人や家畜、ペットが襲われた。
 - ☀ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
 状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。
占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
 ☎0167-56-2174
占冠駐在所
 ☎0167-56-2110

- 次のような状況では、静観できると考えられます。
- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
 - 山林内でヒグマの痕跡を見た。
 - 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。



遭遇予防と襲撃対処を模擬体験で学ぶ！ ヒグマ襲撃対応研修を実施しました！！

ヒグマにばったり出会わないための配慮。出会ってしまった時の心得。そして襲われたときの対処まで。みんな学び、練習しました。

7月17日

中トマムの観光事業者さんと共同で開催
事業所スタッフ20名と捕獲従事者2名参加



7月26日

一般の皆様から参加希望を募って開催
観光事業従事者4名、捕獲従事者1名、林業従事者1名、その他5名参加



頼みの綱のクマ撃退スプレーも、買っただけ、持っているだけでは、お守りにもなりません。役立てるためには訓練が欠かせないのです。

今後も、こうした研修を繰り返し実施してまいります。関心お持ちの方は、ぜひご一報ください。

酪農学園大学が今年もヒグマ調査実施中

酪農学園大学(江別市)の野生鳥獣管理学研究室(伊藤哲治講師)の調査チームが、今年も占冠村でヒグマの調査を行っています。調査は今年で7年目を迎え、4月からすでに村内の森林や河川を中心に活動が始まっています。ヒグマの位置や動き、痕跡などの調査を行い、ヒグマの暮らしについて研究しています。成果については、村のヒグマミーティングなどでみなさまに紹介していきたいと思ひます。

